

平成 30 年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）						
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に、基礎的事項を確認しながら学習する。
保健ノートを活用して、理解を深めさせる。
新聞記事やニュース等身近な問題を取り上げ、興味・関心を持つことができる授業を展開する。

2 学習の到達目標

生徒個人の健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善してゆく資質や能力を育む。保健・医療機関を適切に活用することや、生活環境を守るための知識と実践力を高めたりすることにより、生涯を通じた健康作りの基礎を学習する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断		c: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	生涯の各段階においての健康についての課題があることに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	授業で身につけた知識のみならず、時事問題や身近に起こりうる健康課題について知識・理解を深め、個人や集団で問題解決を図るなど、知識を活用する力を養う。		健康的な生活・生命の維持・思春期を取り巻く健康リスクについての知識を深め、健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び健康的な社会環境づくりを行うことが重要であることを理解する。
評 価 方 法	各学期末に考査 各担当者で提出物等の点検 授業への取り組み状況	各学期末に考査 各担当者で提出物等の点検 授業への取り組み状況		各学期末に考査 各担当者で提出物等の点検 授業への取り組み状況
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b		c		
1	生涯を通じる健康	思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み	○	○		○	a: 自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を養い、良好な人間関係を育む姿勢 b: 生涯の各段階に応じた健康についての課題を考え、自己の健康管理ができる c: 思春期における心身の発達 健康な結婚生活 加齢に伴う心身の変化について理解を深めている	提出物 授業態度 期末考査
2	生涯を通じる健康 社会生活と健康	保険制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚濁と健康 健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き	○	○		○	a: 健康課題やさまざまな保健活動、対策について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている b: 自分自身と社会全体の心身の健康を考えて、適切な判断行動ができる c: わが国の保健・医療制度 医薬品 保健・医療サービスの適切な活用 自然環境を汚染と健康について理解できているか	提出物 授業態度 期末考査
3	社会生活と健康	食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保健と私たち 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	○	○		○	a: 環境衛生活動や労働災害等について関心を持ち、生涯にわたっての健康の保持・増進について考えようとしている b: 職場がおこなう健康増進対策、余暇の意義と活用の仕方について総合的に考え、判断し、それらを表している。 c: 働くことの意義や健康のかかわり、働き方と健康問題の変化について、理解し、総合的に判断することができる。	提出物 授業態度 期末考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断
c: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。